

令和5年度第3回 蓮田市総合文化会館運営協議会 議事録

開催日時	令和6年3月22日（金）午後4時～午後5時42分
開催場所	ハストピア 多目的ルーム
記録者	今井 由美子
出席者	会 長 関口 茂 副 会 長 山田 正恵 委 員 塚本 聖子 委 員 栗原 均 委 員 飯野 正章 委 員 茶畑 正一 委 員 高田 康二 （代理出席 松井 菜摘） 委 員 渡辺 弘 事務局 山口 京子 市長 西山 通夫 教育長 生涯学習部次長兼文化スポーツ課 課長 小野寺 潤 副主席 山口 昌昭 主査 今井 由美子
	資料の確認 > 次第 > 資料1 蓮田市総合文化会館運営協議会委員名簿 > 資料2 蓮田市総合文化会館運営協議会設置要綱 > 資料3 令和5年度稼働率（集計） > 資料4 令和5年度使用料 > 資料5 令和5年度ハストピア事業実施状況 > 資料6 令和6年度ハストピア事業計画（案） > 資料7 令和7年度ハストピア事業計画（案） > <u>抜粋</u> （仮称）蓮田市総合文化会館 管理運営計画 ・蓮田市総合文化会館運営状況調査報告・運営評価・改善提案書 概要版 ・令和5年度第2回蓮田市総合文化会館運営協議会 議事録（案） 〈当日配布資料〉 ・蓮田市 令和6年3月定例会 議案等議決結果について 1. 開会 小野寺課長 2. 会長あいさつ 3. 市長あいさつ 4. 議事 (1) 令和5年度事業実施状況 （事務局） 令和5年度ハストピア事業実施状況の説明 (2) 令和6年度事業計画（案）

(事務局)	令和6年度事業計画（案）の説明
(委員)	1月18日に開催予定の伊奈学園吹奏楽これは無料でやるということですか。
(会長)	伊奈学園高校の先生に、私が連絡を取っているのですが、出演料は特になし、何が必要ですかと言ったら、楽器を運ぶバストラック代それがあればということとして、指揮者は先生ですから、ここへ来る時にはどうするのかと言ったら出張となる、公費で出張となりますと、あとはパンフレットなど、多少作ることになると思います。がそんな内容になります。
(委員)	伊奈学園高校は毎年、定期演奏会を大宮のソニックシティで行っていると思いますが、確か一般にも開放していて、入場料を取っています。
(会長)	入場料を取るということになると、話は変わってきます。これは取らない設定です。
(委員)	取らないとなると、例えば、せっかく来たのに入れないとか、抽選かなにかしないとならないですか。
(会長)	それが心配で、その辺を上手くやらないと混乱を起こすかと思います。
(事務局)	企画に関しては、詳細は会長と詰めさせていただきます。今の段階では無料ということで、こちらはハストピアサポーターズ企画であった意見です。
(委員)	6月23日の0才からのクラシックですが、内容が0才からと、入場料を0才から取れますか。
(事務局)	3才以下の方は無料で、こちらにお載せしてあるとおりですが、親子ペア券、3才の方は無料、1席となりで見ていただくということであれば、3才以下の方でも1席買っていて見ていただくか、クラシックに触れる0才の小さいお子さんから、そういった形で触れる機会をとということで企画したもの子ども向けのということで企画をしておりますので、親子ペア券であれば3才未満の方も無料です。大人の方で、子どもさんは3才以上という形でということとは、騒いでもいいということですか。
(事務局)	クラシックということで、あまり飛び跳ねるのはしないということです。
(委員)	そうではなくて、泣き声があったり、そういうことがあるので、そういう形では少ないと思いますが、クラシックの曲を演奏するのですか。
(事務局)	その予定で進めています。クラシックだけでなく音楽に触れようということで、各地で公演をいただいている、ソニー財団さんになります。
(委員)	ハストピアの中に、確か子どもさんが入れるようなところがありますよね。
(事務局)	はい、親子室があります。
(委員)	何名ぐらい入れるのですか。
(事務局)	ご家族1組ずつ順番に交代で見ていただいておりますが、一度に5名以下だと思います。
(事務局)	追加で、令和6年度事業計画（案）事業の詳細説明
(3)	令和7年度事業計画（案）

	(事務局) 令和7年度事業計画(案)の説明 資料7 令和7年度事業計画案 11 ページ (事務局) 令和7年度のハストピア事業計画案です。今まで令和5年度、6年度と音楽のジャンルがどうしても多くて、ホールの特性もありますが、事務局のほうで、ホールの催事に関して企画をさせていただいています。どうしても音楽に偏ってしまっている部分が多く、6年度を見ていただいても、ジャンルとして音楽が多くなっています。そこで7年度はまず、運営協議会の委員の皆様のご意見、事業形態、ジャンルを、できれば目的、対象者の方は、大人、子ども向け、高齢者向けと、いろいろなご意見、大まかな大枠をお考えいただいて、それを事務局のほうでそれに照らし合わせて企画を考えていきたいと思っています。 資料7の下、「事業形態」ということで、『鑑賞・普及育成・交流・創造』となっていますが、これらがどういうものかということが、別添の資料にあります。抜粋「蓮田市総合文化会館管理運営計画」の2ページ、「自主事業計画の分類」に、それぞれ、『鑑賞・普及育成・交流・創造』ということで事業が詳しくありますが、こちらのほうも参考にしながら、皆様のご意見をいただければと思っています。 ジャンルに関しては、同資料7の下に、私どもで思い当たるものを載せていますが、これ以外にも、ホールに限らず、小さな諸室、和室、創作ルームも含めて使えるジャンルのものが何かあれば、ご意見をいただいて企画を考えたいと思います。 (会長) 皆さんのこういうのはどうかということをぜひお伺いさせていただきたいと思います。演劇はあまりできていないです。お金もかかるし、舞台の構造等で難しいのですが、そういうのもあったほうが良いだろうと思います。邦楽系もやっていないですね、どういうジャンルが良いと思いますか。 (委員) 一番難しいのが『創造』というところですが、市民音楽劇の「黒浜沼の河童」やったじゃないですか。あれの続きじゃないですが、ああいったことはまた準備を始められてもいいような気がしたんですが、毎年は無理としても何年かに一度こうした題材を、来年はワークショップとかちょっとしたものをやりながら、2年後に作品にするってような考えは出来ないですか。せっかくみなさんで頑張ってたので、次を作れないかなと思ったんです。 (市長) 一番最初に私が制作をやりまして、市長になる前に変な話、チケット売りもやりましたので、いかに作るまでが大変かというのをよくわかっています。ただ、全員市民だったので、最終的に昨年終わった後の盛り上がり方はすごかったです。ああいう姿を見ると、やはりやらないといけないのかなという気持ちになります。それはしっかりと責任をもって追ってくれる人をまず探すところからしないと私はできないので、そこからと思っています。あとはやはり本が、いい本に出会うことです。 (委員) そうですね。周年事業みたいなことでどうかと思います。 (市長) 10年って先ほどおっしゃったので、10周年なのかと思います。 (委員) 今、全国で市民ミュージカルがすごく隆盛になっていて、どこでも結構市民が集まって、ミュージカルをやっています。一番やりやすいんです。やりやすいっていうのは変ですけど、オペラは難しいですから、ミュージカルを地元でというか、元四季の方がいっぱい全国にい
--	---

	らっしゃって、何か地域の物語を作ってというのは結構多いです。だから何年かかかって作って、何周年まで作っていくという手はあるかと思います。
(会長)	誰か連作ものを、2年に1度くらいで新しい演目を作ってやってくれる人がいるといいのですが、ミュージカルも素晴らしいと思いますが、やはりプロがやると素晴らしくなりますが、市民がやるとちょっと大変、市民の力だけでは難しいような気はします。
(委員)	そうではないです。音楽の人を入れる、プロをちょっと入れてまとめてもらうっていうのはあります。
(委員)	これは、ハストピア事業計画をここに書いて出すのではなくて、今ここで発言したほうがいいですか。
(事務局)	今日のところは、こちらのジャンル、内容まで細かくというのではなく、大まかで音楽、演劇、今、言っていましたミュージカルといったもの、そうすると、ミュージカルは事業形態としては創造のところに入りますが、この「事業形態」と「ジャンル」をいくつかご意見いただければと考えております。
(委員)	私は蓮田市 PTA 連絡協議会から来ておりまして、子どもたちが今、何が、子ども目線から言わせてもらいますと、携帯を常に、小学校4年生から中学生は90%くらい持っているので勉強させてもらったのですが、その中で大まかに子どもが喜ぶもの、ジャンル、事業形態はわかりませんが、私なりに言いますと「集客」です。まず、歌手が呼べればみんな来れる、年配の方も子どもも、もう一つがダンス、ダンスはみんながやりたがる、習ってもいますし、小学生から中学生、高校生、大人の方まで呼んでもおもしろいと思います。それと、創造でいう、フェスティバルです。これはたぶん集客は得られるのかと、蓮田市民の方がご年配の方からお子様まで楽しめる企画があれば集客が得られると思います。
(会長)	私は音楽以外、なかなか思いつかないのですが、他にこういうのはどうかとお知恵をお貸しいただきたいと思います。1つには演劇的なものがあったても、ここにもありますように人形劇とか、先ほど出てきていたミュージカル、演劇があってもいいと思います。
(委員)	芸術からは離れますが、市民の方に考えていただくという感じの講演会みたいなお話で、防災について考えようとか、そういうテーマに沿って何か聞いていらっしゃる市民をひっぱってくださるような、ただ聴きっぱなしというのではなく参加型の何か、ちょっと楽しいお話会みたいなのはいかがでしょうか。
(委員)	お話の会はこじんまりとしたものは図書館でよくやっています。ハストピアでもスタジオでやりました。そういうのもいいと思います。
(委員)	演劇で一番お金がかからないのは、リーディングなんです。今、結構多いです。何か本を選んだりして、読み聞かせる「朗読」というものです。
(市長)	「黒浜沼の河童」もその類です。あれはお芝居をやっていないくて、演者二人が何人かに分けてやっている、あれもリーディングです。
(委員)	河童の間を、後ろに音楽の人や少し曲を入れるのをつけたり、合唱をつけたりすると、演劇と融合するようなものができると思いますし、お金はかかりません。演劇をやるとセット、照明などかかってしまうのですが、河童はそれに近いです。
(会長)	リーディングの対象はありますか。
(委員)	お子さん向けにやるのが「読み聞かせ」ですが、大人向けにやって

	(市長) もいいですし、両方、一日そういう日にしてもいいと思います。演目としては1つではもたないでしょうから、例えば、夏目漱石と3人くらい文豪を組み合わせるなど何でもあります。 よくあるのが、藤沢周平です。イメージがしやすいのか、よく題材として使われます。他には「ラブレター」これは外国のですが、男の人と女の人がラブレターのやり取りするのを、ずっとお手紙を話します。会わないで出会いはなくというようなものもありますし、いろいろあります。 あとは集客です。やはり委員さんがおっしゃいましたが、この1年間、ここは634で、1階席は515ですが、ほとんど埋まっています。館としては一番の喜びです。人が来て観てくれたというのが、公共事業ですが、たくさんの方が来てくれたというのが1つの目安といつも話合っています。 (委員) リーディングだと、読むだけなので、1日2日そういう名前のある人を呼ぶことはできます。 (委員) 例えば多目的ルーム、和室、創作ルームなどがなんとなく控室で使われていることが多いのですが、サポーターズをやらせていただいていますと非常に感じます。1つは演劇とか大きなコンサート、いわゆるリーディングとかお客さんがたくさん来るという一方で、その流れが必要だと思うのですが、創作ルームで工作教室とか、難しい折り紙をやってみようとか、そういった各部屋がその目的で使われるというようなそういったことも市民の皆さんに使っていただく方向性も必要なのかと考えています。お客さんがたくさん来てくださるのが何よりです。ただ、例えばよみいさんだと、蓮田の人より外の人の方が多かったかなというようなこともあるので、親子で来て少し学べる講座のようなものや、そういったことも20~30人くらいしか使えないと思いますが、創作ルームは、台があっても、荷物を置いて控室で使いますというのはもったいないと感じています。では、具体的に何ていうのはなかなか出てこないですが、サポーターズの一員でもあるので一緒に考えさせていただきながら、大きな集客するという流れの文化事業と、もう一つでは本当に小さな講座のようなものということも考えていけたらいいと考えています。 (会長) 確かに本来の目的以外の控室準備室そっちのほうが回数としては多いかもしれません。 (委員) それだけ人が来ていたということです。バレーボールの方たちがいらしていたとか、それはそれでよかったと思います。 (会長) 例えば、絵画を描く、定期的に絵画教室みたいな、そういう使い方もあるといいかもしれません。 (事務局) 今、急に言われてもなかなか事業形態、またジャンル等々難しいところもあると思いますので、一度委員の皆様にはお持ち帰りをいただいて、特に渡辺委員さんにおかれましては、ぜひ、ご指名ということで1つ何かいいものをぜひお持ちいただければ、助かります。 恐縮ですが、ぜひ企画を次回までをお願いいたします。ジェイコムさんは今回、色々ご足労いただきご協力いただいております、来年ももう1つぜひお願いしたいところです。また、ご協賛ご協力いただいておりますので、引き続き蓮田市と一緒に事業を進めていただけると助かります。高田局長様によろしくお伝えいただければと思います。次回また、6月頃に運営協議会を予定しておりますので、皆様の方にはぜひ委員が変わらなければ、次回までにこういうのがあるよという
--	--

	のをいただけると、令和7年度分ですので、できればいろんな事業形態、ジャンルから事務局の方でも選んでいきたいと考えておりますので、ぜひご協力のほうをお願いしたいと、次回までにご提案いただければと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。 (会長) 難しい宿題が出ました。皆さん持ち帰って何か1つぐらい出せるように何か考えてきてください。ジャンルを、このジャンルならこうということ、2つ3つのジャンルを考えていただけると、大変助かると思いますので、ぜひお願いします。
	5. その他 「蓮田市総合文化会館運営状況調査報告・運営評価・改善提案書概要版」について説明 (事務局) この概要版を参考にして、来年度6年度の運営協議会において委員のご意見を聴きながらハストピアとしての運営主体の検討を考えております。時期的には、新年度の予算が10月頃に組むことになるので、そのぐらいの時期に方向性を定めていきたいということで、検討していきたいと考えておりますので、運営協議会の皆様のご意見、運営主体の方をどのような形にしたほうがよろしいのかというのを、次回の会議でご意見を頂戴できればと思います。 (会長) 大変重大というか、難しいというか、そういう課題であります。きちんとした判断はできないような気もしますが、市の考え方というか、それも予算に伴うものですから、それが第一だと思うのですが、それぞれ皆さん、この概要版を持ち帰っていただいて、お考えをまた次の機会に聴かせていただきたいということで、将来の運営が皆さんのご意見でどうなっていくのかということで、非常に重要な重い課題をいただきましたので、ぜひご検討いただきながら、また、色んな情報を得ながらハストピアとして一番良い方法はどれなのかということを考えていきたいと思います。 (事務局) 市の方でもまた、今後の運営主体につきまして、特に隣の総合市民体育館が大規模改修に入りまして、今の予定で行きますと、令和7年度末まで工事ということで、令和8年度の当初からリニューアルしてオープンする予定ということで今のところ考えております。それも踏まえまして、こちらのハストピア、ずっと宿題だった運営主体について改めて今回、このような形で調査をさせていただきます。ハストピアとパルシーの方の運営につきまして今後どのようなことが望ましいのか、ということも執行部の方でも考えさせていただきます。そのための皆様からの貴重なご意見として6月の時点でまた、お声をいただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。 (会長) 課題がいくつも提示されることになりました。7年度のジャンル、運営の形ですね、それらについての皆さんのご意見を次回考えを披露していただきたいということでございますので、なかなか難しい問題というか、課題です、よろしくお願いいたします。 (委員) パルシーの方が改築に入るとするのは、風の便りに聴いているが、どんな風にかわるのか、6月の時にでも、大体こんな風に変わるだということかわからないと、パルシー、ハストピア一体でどうするか、あるいは個別でどうするかというのもできないと、何らかのデータは示してもらいたいと思います。 (会長) ごもったもです。どのようになるのか今までと変わるのか変わらな

	いのか、色々な点で情報提供をお願いしたいと思います。 (事務局) 委員がおっしゃるのもごもっともだと思いますので、私どもの方で今、実施設計の方がようやく、最終的な詳細設計の方が終わってこれから実際の建築の方に入っていく場面なんです、以前、基本設計でお示した、その際の情報というのはお示しができますので、委員の方に何らかの形で、パルシーの方の改修もこういった形になります、サブアリーナにつきましてはこういうものが予定されてますということもご案内させていただくようにしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。 (会長) そういうことで、次回の会議でご提示をいただくことになりましたので、よろしくお願いいたします。 当日配布資料の説明 (教育長) 総合市民体育館の議案の議決結果等について 6. 閉会 山田副会長
--	---